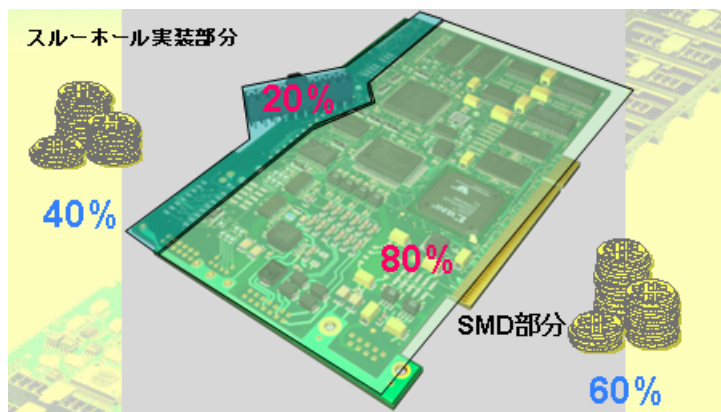




基板の製造コストダウンについて

プリント基板は、現代における電気製品の多くが使用している一般的な部品です、端子台は一見単純な部品ですが、基板上の部品で端子台の占めるコストは意外に大きいものなのです
コストダウンの良い方法は無いのでしょうか？



基板の製造コスト

一般的な基板で試算した基板のコスト分布です
ここから言えることは、基板上の20%しか使わない端子台が意外にも基板全体の製造コストの40%を占めているという事実です。

高コストの原因は、製造工程に於いて完全自動化が確立されているテープ実装式SMD部品に対し、端子台には手作業が伴うことと、リフローハンダ工程でSMD部品をハンダ付けした後、ウェーブハンダ工程を通してハンダ付けする必要があるためです

端子台のコスト対策の一案

もし、端子台でSMD実装部品と同様にテープ実装の自動化に対応し、リフローの高熱に耐えることの出来る端子台が存在すれば、基板の端子台部分の人件費削減と、リフローハンダでハンダ工程を統合化することにより、ウェーブハンダ工程のコストを削減することが出来るとともに、ハンダの鉛フリー化を容易にします。

現在、市場でのコスト競争の激化により、価格競争が激しくなり個々の部品のコストダウンが限界に達し、製造工程の見直しによるトータルコストダウンという考え方が海外でも注目され実用化され始めています。

Q&Aコーナー

1. 耐熱性を高めるために通常の端子台と異なる点は？

A: 通常ヨーロッパ式の端子台は、ポリアミド66もしくはPBT等で出来ていますが、耐熱性の高いPA4.6やLCPなどの素材が使われています。

2. 普通の基板端子台とどう違いますか？

A: 自動実装のために上面が平らになっているか、板が装備されています、そして基板上面からの熱がピンにしっかりと伝わるために端子台の下に隙間が設けられています。



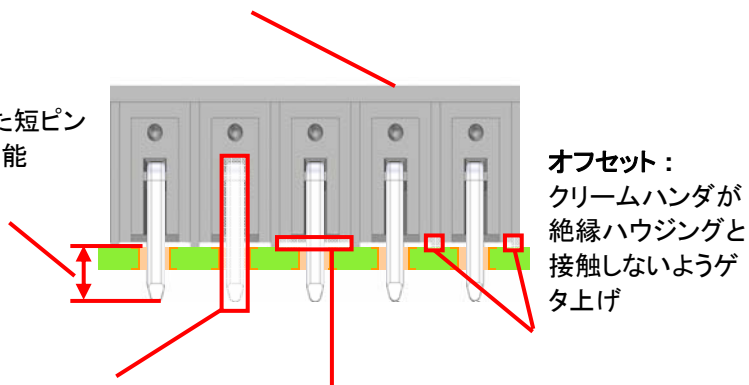
フェニックス・コンタクト社のTHR端子台は技術力でお客様のトータルコストダウン要望に応えます



耐高温絶縁ハウジング：
標準的リフローハンダ付け耐熱温度 260°Cに対応



ピン長さ：
お客様の要望にあわせた短ピン
もしくは長めのピンを選択可能



オフセット：
クリームハンダが絶縁ハウジングと接触しないようゲタ上げ

リフロー向けデザイン：
ソルダーピンが外気の熱に接しやすいデザイン

十分な空間：
クリームハンダに十分なスペース

COMBICON スルーホールリフロー(THR)シリーズ

ヨーロッパ市場での、お客様からの自動化によるトータルコストダウン実現の要望に応え、フェニックスコンタクト社では、コネクタタイプだけでなく、2段式コネクタ、基板固定式バネ接続式やネジ接続式などのタイプ、また限られたテープ幅で多極コネクタを実現するための2イン1システムなどを開発し、スルーホールリフロー(THR)シリーズのラインナップを年々増やしております



多極対応2イン1システム



バネ接続基板端子台THR



ネジ接続基板端子台THR

フェニックス・コンタクト株式会社

横浜市港北区新横浜1-7-9 友泉新横浜1丁目ビル6階

本社・営業部	Tel 045(471)0030	Fax 045(471)0031
大阪営業所	Tel 06(6838)3133	Fax 06(6838)3533
名古屋営業所	Tel 052(918)7211	Fax 052(918)7222
大宮営業所	Tel 048(631)3371	Fax 048(648)8651
福岡営業所	Tel 092(418)2030	Fax 092(476)8643

商品のお問い合わせは